

# ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

## 運用報告書(全体版)

### 第6期

(決算日 2025年12月19日)

(作成対象期間 2025年6月20日～2025年12月19日)

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2022年12月20日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ドラッカー研究所米国株マザーファンドの受益証券
	ドラッcker研究所 米国株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、D R（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国株式の中から、企業の無形資産価値の高さに着目してポートフォリオを構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率			
2期末(2023年12月19日)	円 14,495	円 0	% 8.8	% 98.6	% —	百万円 11,383
3期末(2024年6月19日)	19,300	0	33.1	98.6	—	29,438
4期末(2024年12月19日)	19,412	0	0.6	98.8	—	32,767
5期末(2025年6月19日)	18,460	0	△ 4.9	99.1	—	32,688
6期末(2025年12月19日)	23,410	0	26.8	99.2	—	35,503

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 株式先物比率は賃貸比率－売却比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。

ドッカーリテラリーワークス・ファンドは、ドッカーリテラリーワークス・ファンドデータおよびファンド計算のためにドッカーリテラリーワークス・ファンドが大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドッカーリテラリーワークス・ファンドデータの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドッカーリテラリーワークス・ファンドデータの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドッカーリテラリーワークス・ファンドはいかなる保証もしません。

ドッカーリテラリーワークス・ファンドは、明示的か黙示的かを問わず、ドッカーリテラリーワークス・ファンドデータに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行なわず、ここに明示的に否認します。ドッカーリテラリーワークス・ファンドは、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドッカーリテラリーワークス・ファンドデータのパフォーマンスの相対的な関係について、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

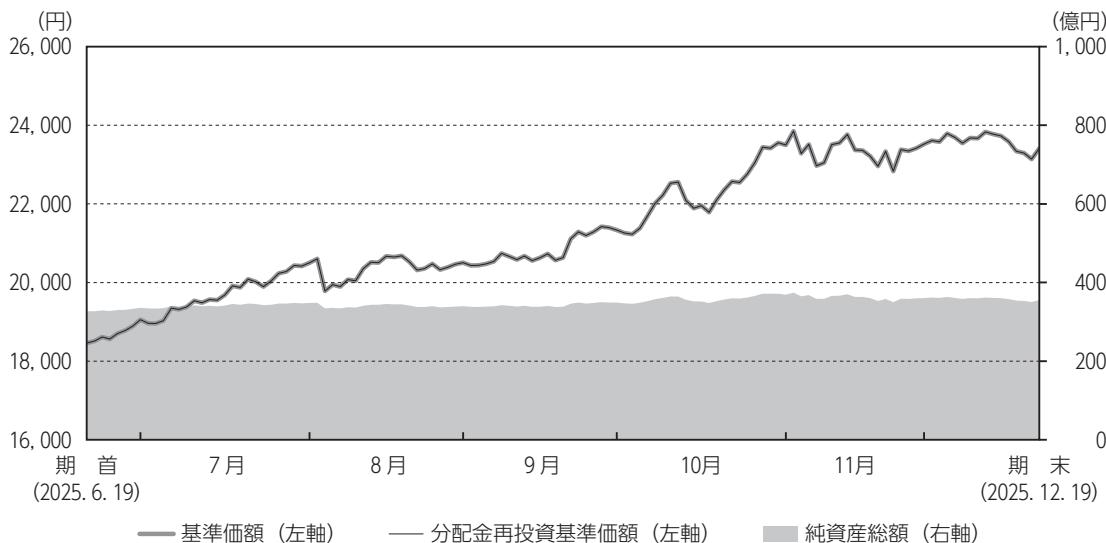
"The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of, and has not approved, authorized, or reviewed the terms or any other aspect of the DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE), and is not involved in the provision of this product or service."

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行なっていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

期首：18,460円

期末：23,410円（分配金 0円）

騰落率：26.8%（分配金込み）

## ■基準価額の主な変動要因

米国株式市況の上昇と米ドル円為替相場の上昇（円安）を受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

年　月　日	基　準　価　額		株式組入比率	株式先物比率
		騰　落　率		
(期首) 2025年6月19日	円 18,460	% —	% 99.1	% —
6月末	19,056	3.2	99.0	—
7月末	20,501	11.1	98.8	—
8月末	20,505	11.1	99.7	—
9月末	21,333	15.6	98.6	—
10月末	23,500	27.3	99.4	—
11月末	23,522	27.4	99.7	—
(期末) 2025年12月19日	23,410	26.8	99.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2025. 6. 20 ~ 2025. 12. 19)

### ■米国株式市況

#### 米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中双方の大幅な関税引き下げのほか、インフレの加速が見られない中で雇用情勢が悪化してF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇しました。2025年7月以降は、各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のF R Bの利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、史上最高値を更新しました。11月に入り、政府機関の一部閉鎖の影響や利下げ観測の後退などが嫌気されて下落ましたが、同月下旬には再度利下げ観測が高まつたことを好んで、反発して当作成期末を迎えるました。

### ■為替相場

#### 米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、米国金利の低下を背景に円高米ドル安基調となり、さらに、インフレ圧力が抑制されるなら2025年7月の利下げを支持するとのボウマンF R B（米国連邦準備制度理事会）副議長の発言も影響し、円高米ドル安が進行しました。7月に入ると、各種の経済指標を受けて米国の利下げ期待が後退したことで日米金利差の拡大が意識されたことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まつたことによる円安圧力などから、円安米ドル高となりました。9月以降は、パウエルF R B議長の利下げに慎重な姿勢や堅調な経済指標などを受けた米国金利の上昇、また自民党総裁選挙の結果を受けて、財政拡張や緩和的な金融環境の継続への期待などから投資家のリスク選好度が強まつたことなどから、円安米ドル高が進行し当作成期末を迎えるました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2025. 6. 20 ~ 2025. 12. 19)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

### ■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、主力の広告事業とクラウドコンピューティング事業がともに安定的な成長をしており、市場予想を上回る決算を発表したことや、最新AI（人工知能）モデル「Gemini3」の発表が高く評価された ALPHABET INC、NVIDIA CORP による株式取得とデータセンター向けおよびパソコン向け半導体の共同開発を発表した INTEL CORP などがプラスに寄与しました。一方で、市場予想を上回る好調な決算を発表したものの保守的な会社計画が嫌気された INTUIT INC、OPENAI や CANVA などの競合他社がより効率的にAIを活用し、より迅速な普及を実現している可能性があるとの見方から、AI競争激化と成長鈍化懸念が嫌気された ADOBE INC などがマイナス要因となりました。

個別の売買では、2025年のドラッカー研究所スコアを加味した売買を行いました。顧客満足スコアや社会的責任スコアが評価された LINDE PLC、イノベーションスコアが大きく上昇した EXPEDIA GROUP INC や PAYPAL HOLDINGS INC などを新規に組入れました。一方で、イノベーションスコアが低下した INTUITIVE SURGICAL INC や、顧客満足スコアが低下した CADENCE DESIGN SYSTEMS INC などを売却しました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 分配金について

当成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送させていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期
	2025年6月20日 ～2025年12月19日
<b>当期分配金（税込み）(円)</b>	—
対基準価額比率 (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
<b>翌期繰越分配対象額 (円)</b>	13,410

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 6. 20～2025. 12. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	174円	0.813%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は21,413円です。</b>
(投 信 会 社)	(94)	(0.441)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(77)	(0.358)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.004	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.004)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	176	0.822	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

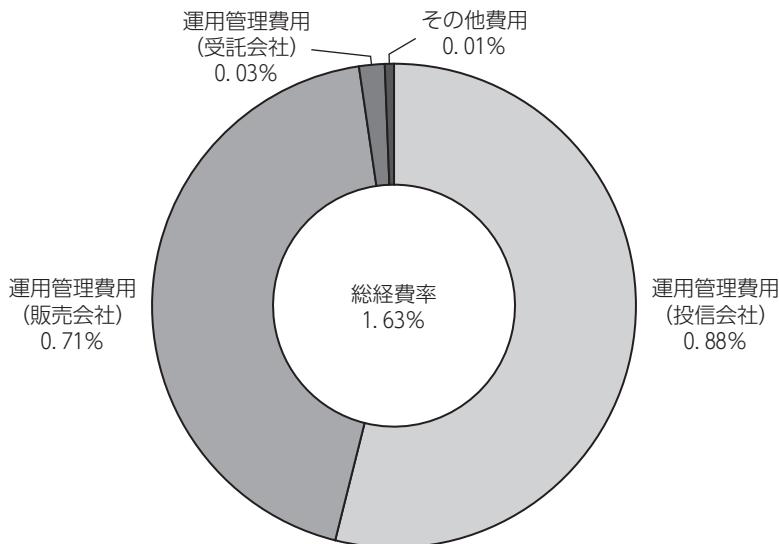
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

# ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年6月20日から2025年12月19日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
千円	千円	千円	千円	千円
ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	134,661	302,228	2,675,313	6,016,921

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年6月20日から2025年12月19日まで)

項 目	当 期	
	ドラッcker研究所米国株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	22,993,219千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	34,754,047千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
千円	千円	千円	千円
ドラッcker研究所米国株 マザーファンド	16,866,501	14,325,849	35,500,888

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年12月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ドラッcker研究所米国株 マザーファンド	35,500,888	99.0
コール・ローン等、その他	361,798	1.0
投資信託財産総額	35,862,686	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので  
す。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝  
155.85円です。

(注3) ドラッcker研究所米国株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建  
純資産(35,471,917千円)の投資信託財産総額(35,510,093千円)に対す  
る比率は、99.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月19日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	35,862,686,711円
コール・ローン等	353,298,069
ドラッcker研究所米国株 マザーファンド (評価額)	35,500,888,642
未収入金	8,500,000
(B)負債	358,834,609
未払解約金	74,214,876
未払信託報酬	283,658,268
その他未払費用	961,465
(C)純資産額 (A - B)	35,503,852,102
元本	15,165,888,138
次期繰越損益金	20,337,963,964
(D)受益権総口数	15,165,888,138口
1万口当り基準価額 (C / D)	23,410円

\*期首における元本額は17,708,028,845円、当作成期間中における追加設定元本額  
は1,443,470,061円、同解約元本額は3,985,610,768円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は23,410円です。

## ■損益の状況

当期 自 2025年6月20日 至 2025年12月19日

項目	当期
(A) 配当等収益	422,593円
受取利息	422,593
(B) 有価証券売買損益	7,401,603,711
売買益	8,489,861,589
売買損	△ 1,088,257,878
(C) 信託報酬等	△ 284,619,733
(D) 当期損益金 (A + B + C)	7,117,406,571
(E) 前期繰越損益金	2,853,636,763
(F) 追加信託差損益金	10,366,920,630
(配当等相当額)	( 6,235,902,660)
(売買損益相当額)	( 4,131,017,970)
(G) 合計 (D + E + F)	20,337,963,964
次期繰越損益金 (G)	20,337,963,964
追加信託差損益金	10,366,920,630
(配当等相当額)	( 6,235,902,660)
(売買損益相当額)	( 4,131,017,970)
分配準備積立金	9,971,043,334

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	394,131円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,952,181,737
(c) 収益調整金	10,366,920,630
(d) 分配準備積立金	4,018,467,466
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	20,337,963,964
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	20,337,963,964
(h) 受益権総口数	15,165,888,138□

**ドラッカー研究所米国株マザーファンド**  
**運用報告書 第6期 (決算日 2025年12月19日)**

(作成対象期間 2025年6月20日～2025年12月19日)

ドラッカー研究所米国株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

**★当ファンドの仕組みは次の通りです。**

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

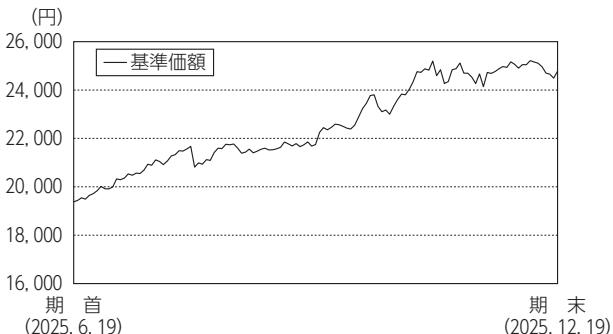
**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基 準 価 額		株式組入比	株式先物比率
	円	%		
(期首) 2025年6月19日	19,380	—	99.2	—
6月末	20,016	3.3	99.0	—
7月末	21,564	11.3	98.8	—
8月末	21,596	11.4	99.7	—
9月末	22,500	16.1	98.7	—
10月末	24,821	28.1	99.4	—
11月末	24,876	28.4	99.7	—
(期末) 2025年12月19日	24,781	27.9	99.3	—

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：19,380円 期末：24,781円 謄落率：27.9%

#### 【基準価額の主な変動要因】

米国株式市場の上昇と米ドル円為替相場の上昇（円安）を受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

### ◆投資環境について

#### ○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当成期首より、米中双方の大幅な関税引き下げのほか、インフレの加速が見られない中で雇用情勢が悪化してF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇しました。2025年7月以降は、各国に対する相互通関税の引き下げなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬の

F R Bの利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。10月下旬にかけては、成長期待が高まつたA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、史上最高値を更新しました。11月に入り、政府機関の一部閉鎖の影響や利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月下旬には再度利下げ観測が高まつたことを好感し、反発して当成期末を迎みました。

### ○為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、当成期首より、米国金利の低下を背景に円高米ドル安基調となり、さらに、インフレ圧力が抑制されるなら2025年7月の利下げを支持するとのボウマンF R B（米国連邦準備制度理事会）副議長の発言も影響し、円高米ドル安が進行しました。7月に入ると、各種の経済指標を受けて米国の利下げ期待が後退したことで日米金利差の拡大が意識されたことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まつたことによる円安圧力などから、円安米ドル高となりました。9月以降は、パウエルF R B議長の利下げに慎重な姿勢や堅調な経済指標などを受けた米国金利の上昇、また自民党総裁選挙の結果を受けて、財政拡張や緩和的な金融環境の継続への期待などから投資家のリスク選好度が強まつたことなどから、円安米ドル高が進行し当成期末を迎みました。

### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ド ラッカ イ 研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行ふ方針です。

### ◆ポートフォリオについて

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ド ラッカ イ 研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、主力の広告事業とクラウドコンピューティング事業がともに安定的な成長をしており、市場予想を上回る決算を発表したことや、最新A I（人工知能）モデル「Gemini3」の発表が高く評価されたALPHABET INC、NVIDIA CORPによる株式取得とデータセンター向けおよびパソコン向け半導体の共同開発を発表したINTEL CORPなどがプラスに寄与しました。一方で、市場予想を上回る好調な決算を発表したものの保守的な会社計画が嫌気されたINTUIT INC、OPENAIやCANVAなどの競合他社がより効率的にA Iを活用し、より迅速な普及を実現している可能性があるとの見方から、A I競争激化と成長純化懸念が嫌気されたADOBE INCなどがマイナス要因となりました。

個別の売買では、2025年のド ラッカ イ 研究所スコアを加味した売買を行いました。顧客満足スコアや社会的責任スコアが評価されたLINDE PLC、イノベーションスコアが大きく上昇したEXPEDIA GROUP INCやPAYPAL HOLDINGS INCなどを新規に組入れました。一方で、イノベーションスコアが低下したINTUITIVE SURGICAL INCや、顧客満足スコアが低下したCADENCE DESIGN SYSTEMS INCなどを売却しました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	1円 ( 1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	0 ( 0) ( 0)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株式

(2025年6月20日から2025年12月19日まで)

	買付		売付	
	株数	金額	株数	金額
外 国 アメリカ	百株 ( 2,880.15 ( 一))	千アメリカ・ドル ( 56,289 ( 一))	百株 ( 6,772.64 ( 一))	千アメリカ・ドル ( 93,328 ( 一))

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれおりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株式

(2025年6月20日から2025年12月19日まで)

銘柄	当期			銘柄	当期		
	買付	株数	金額		売付	株数	金額
LINDE PLC (アイルランド)	千株 18.37	1,185,128	円 64,514	NVIDIA CORP (アメリカ)	千株 44.528	1,182,099	円 26,547
INTUITIVE SURGICAL INC (アメリカ)	13.089	917,450	70,093	INTUITIVE SURGICAL INC (アメリカ)	13.089	1,147,654	87,680
EXPEDIA GROUP INC (アメリカ)	21.531	851,822	39,562	APPLE INC (アメリカ)	29.851	1,122,300	37,596
ANALOG DEVICES INC (アメリカ)	22.985	849,430	36,955	GILEAD SCIENCES INC (アメリカ)	57.66	1,113,504	19,311
PAYPAL HOLDINGS INC (アメリカ)	86.43	824,029	9,534	CADENCE DESIGN SYSTEMS INC (アメリカ)	19.781	951,958	48,124
LULULEMON ATHLETICA INC (アメリカ)	28.922	780,239	26,977	PALO ALTO NETWORKS INC (アメリカ)	31.457	885,792	28,158
VERISK ANALYTICS INC (アメリカ)	21.302	740,390	34,756	ANALOG DEVICES INC (アメリカ)	22.985	829,243	36,077
MICROSOFT CORP (アメリカ)	7.822	584,952	74,782	ALPHABET INC CLASS C (アメリカ)	21.11	823,121	38,992
NVIDIA CORP (アメリカ)	11.175	298,385	26,701	INTEL CORPORATION CORP (アメリカ)	168.99	819,539	4,849
AMAZON COM INC (アメリカ)	6.918	244,640	35,362	MONDELEZ INTERNATIONAL INC CLASS A (アメリカ)	90.836	803,717	8,848

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## 外国株式

銘 柄	期 首	当 期 末			業種等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株		千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
PALO ALTO NETWORKS INC	314.57	—	—	—	—	情報技術
VERISK ANALYTICS INC	—	210.11	4,592	715,721	715,721	資本財・サービス
ADOBE INC	205.74	222.65	7,922	1,234,660	1,234,660	情報技術
LULULEMON ATHLETICA INC	—	285.27	6,136	956,364	956,364	一般消費財・サービス
AUTODESK INC	217.55	240.09	7,184	1,119,697	1,119,697	情報技術
APPLE INC	1,090.79	807.28	21,973	3,424,547	3,424,547	情報技術
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	196.36	—	—	—	—	情報技術
CISCO SYSTEMS INC	1,484	1,257.31	9,675	1,507,848	1,507,848	情報技術
COSTCO WHOLESALE CORP	111.32	100.2	8,593	1,339,227	1,339,227	生活必需品
EXPEDIA GROUP INC	—	212.36	6,064	945,197	945,197	一般消費財・サービス
AMAZON COM INC	797.77	735.87	16,686	2,600,604	2,600,604	一般消費財・サービス
ALPHABET INC CLASS C	903.55	699.42	21,244	3,311,014	3,311,014	コミュニケーション・サービス
NETAPP INC	446.5	—	—	—	—	情報技術
PEPSICO INC	581.61	522	7,797	1,215,180	1,215,180	生活必需品
QUALCOMM INC	547.03	487.9	8,498	1,324,527	1,324,527	情報技術
AIRBNB INC CLASS A	448.18	483.23	6,474	1,009,097	1,009,097	一般消費財・サービス
NVIDIA CORP	1,553.72	1,220.19	21,248	3,311,561	3,311,561	情報技術
LINDE PLC	—	181.19	7,591	1,183,163	1,183,163	素材
ADVANCED MICRO DEVICES INC	649.18	411.15	8,266	1,288,346	1,288,346	情報技術
AMGEN INC	257.51	203.18	6,591	1,027,295	1,027,295	ヘルスケア
GILEAD SCIENCES INC	571.91	—	—	—	—	ヘルスケア
INTEL CORPORATION CORP	3,778.72	2,116.46	7,678	1,196,696	1,196,696	情報技術
MICROSOFT CORP	468.9	464.89	22,499	3,506,585	3,506,585	情報技術
MONDELEZ INTERNATIONAL INC CLASS A	901.6	—	—	—	—	生活必需品
EBAY INC	818.43	732.66	6,129	955,272	955,272	一般消費財・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	—	852.48	5,067	789,713	789,713	金融
INTUIT INC	115.66	122.22	8,175	1,274,081	1,274,081	情報技術
ファンド合計	株数、金額	16,460.6	12,568.11	226,091	35,236,406	
	銘柄数 <比率>	22 銘柄	22 銘柄		<99.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) &lt;&gt;内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ドッカーリンク研究所米国株マザーファンド

## ■投資信託財産の構成

2025年12月19日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 35,236,406	% 99.2
コール・ローン等、その他	273,687	0.8
投資信託財産総額	35,510,093	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので  
す。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝  
155.85円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(35,471,917千円)の投資信託財産総額  
(35,510,093千円)に対する比率は、99.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月19日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	
コール・ローン等	35,529,593,317円
株式(評価額)	255,560,415
未収入金	35,236,406,160
未収配当金	19,500,000
<b>(B) 負債</b>	
未払金	18,126,742
未払解約金	28,061,874
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	8,500,000
元本	35,501,531,443
次期繰越損益金	14,325,849,902
<b>(D) 受益権総口数</b>	21,175,681,541
1万口当たり基準価額 (C / D)	14,325,849,902円
	24,781円

\*期首における元本額は16,866,501,654円、当座成期間中における追加設定元本額  
は134,661,296円、同解約元本額は2,675,313,048円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
ドッカーリンク研究所米国株ファンド(資産成長型) 14,325,849,902円

\*当期末の計算口数当たりの純資産額は24,781円です。

## ■損益の状況

当期 自 2025年6月20日 至 2025年12月19日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	130,032,380円
受取配当金	128,771,078
受取利息	1,261,302
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	8,399,705,224
売買益	9,091,067,428
売買損	△ 691,362,204
<b>(C) その他費用</b>	△ 678,613
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	8,529,058,991
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	15,820,663,798
<b>(F) 解約差損益金</b>	△ 3,341,607,952
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	167,566,704
<b>(H) 合計 (D + E + F + G)</b>	21,175,681,541
<b>次期繰越損益金 (H)</b>	21,175,681,541

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ドラッカー研究所は、ドラッcker研究所データおよびファンド計算のためにドラッcker研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッcker研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドラッcker研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッcker研究所はいかなる保証もしません。

ドラッcker研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッcker研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行なわず、ここに明示的に否認します。ドラッcker研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッcker研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

"The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of, and has not approved, authorized, or reviewed the terms or any other aspect of the DRUCKER INSTITUTE US EQUITY MOTHER FUND, and is not involved in the provision of this product or service."

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行なっていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。